

岸本 泰三

岸本泰三建築設計室

【作品名】 下高倉の家（二期改修）

設計	岸本泰三建築設計室
施工	有限会社クラフトハウス
竣工日	2017年3月30日

◎建物概要

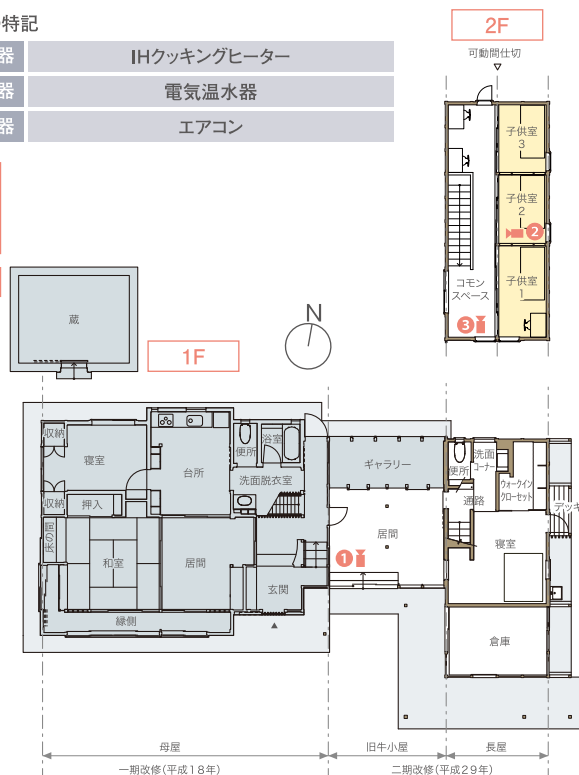
建設地	岡山県津山市	延床面積	253.41㎡
敷地面積	618.42㎡	構造・規模	木造2階建

◎設備面の特記

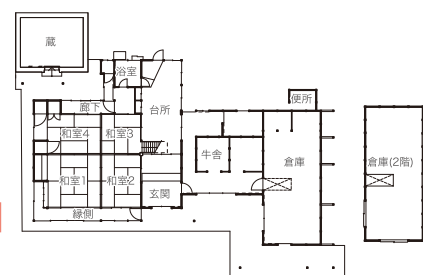
厨房機器	IHクッキングヒーター
給湯機器	電気温水器
冷暖房機器	エアコン

平面図

リフォーム後



リフォーム前



- ① 12年前に母屋と長屋をつなぐデッキとして改修された部分（旧牛小屋）は今回の改修では完全に室内化され、居間として三世代をつなぐ中心的な役割を果たすことになる。
- ② 壁・天井・床の断熱には、吹付断熱工法を採用し、断熱効果を図っている。採光の問題は新しく設けたトップライトによって解決している。



- ③ 長屋の2階は、3人の男の子の極小の個室と共有部分に分かれる。簡易な間仕切りで仕切ることによって子どもたちの独立等、将来的な使い方の変化にも対応できる。それぞれの個室も完全に仕切るものではなく、間仕切り上部を開放することで、広がりや家族の気配を感じることができる空間になっている。空調設備も1台のエアコンでまかなう。

設計コンセプト

ご夫婦が育ち盛りの男の子3人を連れて、母親と同居するための改修計画である。この住まいは、12年前にも当設計室が改修のお手伝いをさせていただいた。1期改修では構造的には建物全体を持ち上げ、基礎工事と土台を補強している。長屋の改修に加えて、母屋を主な生活空間とし、母屋と長屋をつなぐ旧牛小屋をコレクションの備前焼ギャラリーとデッキにする提案であった。今回の希望は、長屋部分だけを改造して夫婦の寝室と子ども室をつくることだったが、12年前に半戸外デッキに改修した旧牛小屋部分は、今回の改修で完全に室内

化し、家族共用の居間として、親、子、孫、三世代をつなぐ中心的な役割を果たすこととなった。物置だった長屋の2階は、3人の子どもの極小の個室とコモンスペースに二分割した。子どもたちは自分の個室の扉を開放して、コモンスペースと合わせて遊びに来た友達の居場所をつくることになる。間仕切りは合板1枚で仕切りであり、将来の家族構成の変化への対応も視野に入れた計画である。各室間も完全に仕切るのではなく、間仕切り上部を開放し、広がりや家族の気配を感じる空間になっている。また充分な断熱と基本的に

ワンルームの計画で、1台のエアコンで2階全体の空調をまかなうことを可能にしている。今回の改修工事は、この住宅にとっては2期改修工事ということになる。1期改修工事の施主であるご主人が幼少期から過ごした住まいを、子や孫の世代にも引き継ぎたいという思いが実現した。ライフスタイルの変化に対応しながら、計四世代が住み継いでいく住まいになった。

審査委員講評

2度のリフォームを重ね、四世代が住み継いでいることに驚きます。現在のライフスタイルに合わせた合板類による家具や建具、そして既存の壁板、床板の再利用、さらに昔から受け継いだ見事な柱梁とのバランスが見事です。